

# 愛知県緊急消防援助隊派遣



平成30年7月豪雨（6月28日以降の台風7号や梅雨前線の影響により、西日本を中心に全国的に広い範囲で発生した豪雨）に伴い、本市から12人の隊員を

1. 現地被災状況（岡山県倉敷市）／
2. 活動隊仮眠用ベッド（宿营地：玉島の森体育館）／
3. 岡山県倉敷市に向かう愛知県大隊／
4. 道中の尾張一宮パーキングエリアで愛知県大隊が集結し、愛知県隊長からの指示を受けた／
5. 活動前に情報共有をし、捜索に向かう／
6. 捜索活動を行う田原市活動隊

3回にわたり、被災地である岡山県倉敷市に派遣しました。現地では、後方支援隊として、6日間活動しました。後方支援隊とは、被災地において、消防隊、救助隊および救急隊などが活動を行うために必要な資器材の輸送、補給活動などを行う実活動隊のサポート隊で、長期間の災害活動においては、大変重要な任務です。

## 田原土木協会との協定書締結式を実施

本市と田原土木協会との「災害時における消防用水の確保に関する協定書」を7月1日に締結しました。

本協定は、コンクリートミキサー車を活用して、大規模火災発生時だけでなく、発生が懸念される南海トラフ地震など、大規模災害発災時にも、消防用水の確保に万全を期すため、締結したものです。

大規模火災などにより消火栓や防火槽の水量だけでは足りない場合や、地震などにより水道管が破損し、消火栓が使用できない場合に、市内のコンクリートミキサー車などを活用して給水作業を行っていただくのです。



▲左から、田原土木協会 役員 河合伸久さん、副会長 加子吉主さん、鈴木副市長、会長 杉田鐘一さん、河合繁樹さん、三浦消防長